

新型コロナウイルスについて

こんにちは。院長の梅津由子です。いつもなら、桜の開花や、新生活の始まりに心浮き立つ季節ですが、新型コロナウイルスの蔓延により不安を抱えての新年度となりました。

皆さんはいかがお過ごしでしょうか？

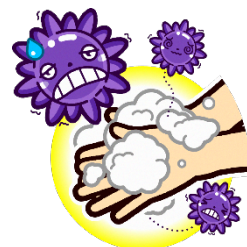
オリンピックの延期をはじめとするいろいろなイベントの延期や中止、何より日常生活から世界経済にまで及ぶ多大な影響に、不安を感じざるを得ません。今回は、新型コロナウイルスについて知っておきたいことをまとめてお伝えしたいと思います。

ウイルスに感染してしまったら、まず約 80%の人は軽症で風邪症状が少し長引く程度で改善します。残りの約 20%の人は入院治療が必要、その中で 5%程度は重篤な症状へ移行するとされています。この感染症は、年齢層や基礎疾患の有無によって重篤度が異なる場合が多く、特に発症後に重症化する可能性が高い高齢者層や障害を持った方々をいかに守っていくということが重要となります。

コロナウイルスの感染経路は、飛沫感染と接触感染です。最も重要な対策は、咳エチケットと手洗い・アルコール消毒など手指衛生を徹底することです。手洗いが大切な理由は、ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があるからです。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手を洗いましょう。

感染予防のために注意することは？ 3つの「密」を避ける。

- 1、 換気の悪い密閉空間
- 2、 多数が集まる密集場所
- 3、 間近で会話や発声をする密接場面



連日、あらゆるメディアで新型コロナウイルスについての情報が提供されます。中には聞きなれない外来語も多く、いまだに聞けない専門用語の意味をまとめてみました。

情報の中には、根も葉もないデマ（トイレットペーパーなどが品切れになるなど）が含まれていることもあります。正しい情報を見極め、冷静に行動することが大切です。一人一人の理性的な行動がこの新型コロナウイルスに打ち勝つための一番重要なことに思えてなりません。



新型コロナウイルスに関連して 使用される専門用語

クラスター

小規模な集団感染や、それによってできた感染者集団。北海道など各地で発生した

オーバーシュート

爆発的に感染患者が増える状況。
欧州の一部地域が陥っている

ロックダウン

都市封鎖

パンデミック

世界中の人に感染する可能性がある病気が、制御不能で大規模に流行している状態

目玉いきいきライフ

目玉いきいきライフのコーナーでは、
目の健康に関する情報や、
耳より情報（眼科だけどっ）をお届けします。



～コンタクトレンズ選びの流れ～

ショップ店長
YASUが
ご説明します！

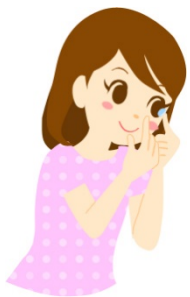


こんにちは。くっきりコンタクトの梅津です。

今回は、当院でのコンタクトレンズの選び方についてお話しします。

初めてコンタクトレンズを使いたいという方には、まずコンタクトの概要から説明しています。ハードとソフトの違い、どのような種類があってどんな特徴があるのかを確認してもらいます。それから乱視や遠近両用が必要な場合はどんな人なのか、1DAYタイプや2weekタイプの適応はどうかを検討してもらいます。

そのあとにレンズ選びになります。安いレンズが良いのか、酸素透過率が高いレンズが良いのか。今キャンペーン中のお得なレンズなどが基準になると思います。また、財布にも目にもやさしいメルスプランの説明の後レンズを決定してもらいます。ただし、ここで決定したレンズがそのまま決まるわけではありません。実際にレンズをつけてみて装着感が悪かったり、ずれがあったりして使えない場合も多いのです。



その後、装着の練習に入ります。ここでレンズが外せない、入れられないという方もおられます。切れ長の目で大きく開けられないとか、指が近づいてくるとどうしても目を閉じてしまうという方は、家でゆっくり練習したほうが良い場合があります。30分ほど練習して無理なら家での練習で克服してもらいます。再度来院してもらい、出来るようになったか確認してご購入となります。昔と違って今のレンズはとてもよくできていて安心して使えるので、未経験の方でも十分対応できると思います。あまり緊張せずに気軽に相談しにいらしてください。

手指消毒にご協力お願いします

新型コロナウイルス対策として本棚の読み物を一時的に撤去しています。当院入口脇に消毒液を設置していますので、クリニックに出入りする際には、手指消毒を行うようご協力お願いします。

また、咳が出る方はハンカチなどを口に当てる・マスクを着用するなどのご協力をお願いします。

